2 APAN 4 4 -ດ-杀伤道路近鄉風 地震緩緩緩緩緩緩緩 -6-\U> 南倉南南南南南南南京黄金市中芸安安成三年十月二日泰西のは色平月東六日政 4-CO11842242 

20

6 7 8

-\U>

楊楊今产山谷近 千使今天 外軍山死多边

(3)(3) あつれたはちかり

考あるからされて四

一九 板すからの帰根者在中

上班のよう他のもろは

(4) 夜小ろろ 的教を下っち丁辺 而放及分內和小外神田三法艺情四

(H) あるが日本に 小十打 布辺

(王) **(T)** 小川丁辺市田むし外 神田东るとも

5 小石川西门内

图 阪田丁かます ろじ丁辺

国 四谷はつ外を名表山同思近する ずクラーまるるとすで

电图图 的さん小石川多野児まち

团氏 和田東的大多士死代的川屋近

小石川市一个外上的田田

外さり田彦が変水の下の

**a** 国 日なであした 芝并芝一条羽川去

图 八下的祭花果香梅烟波也

色 は川一条こている 南山本不坦力的

如上"本老了饭 て不記

安改三辰年正月九日写之 小月月

了るすちならのおかけるかとかいろれいう ○日本格がようなるなる大きろれ小 家方をすかなるたかちろうてもら る十万言れる例の方田井山を竹ちころ町も ウアナネナーティンとよる下ろりをから大いれ

安改三辰年正月九日雪之小门民

四大いきけん了一色了了 第一九石代地 まる事本のイーはでいるとうやろうで られるで生の意的全化心機多管では 福井でもちえいってきる つるすることのできるとあいろれらう でおきをあるのうる一大人はな お付えれるであるすことであるたける 元川戸町中ころであるれてなくて山の名 家ちんち町家ちんかちろうとあい 石中八れて代だれからろうまかいる後途よ 中的と西似する大為不在中後ろいるのち 芝居丁二十からあり、ちあるたり 谷中石の方院小坊牧夫小分丁語でよう 又田丁テめけしてめ山りているたをならいい 五十万言れの例の方田は山花的多三一町ち ○日本指がよういるたるたまさろれ小 ウラーネーラは出よる下ろりもから大つか

(ころはないできるとはでいずしからにとうながらからればらいますではないからからいますではないからできるというというできるというできるというできるというできるというできるというできるというできるというできるというできるというできるというでものものでものできるというできるというできるというできるというできるというできるというできるというできるというできるというできるというにはいうのものもののではいういうのもののではいうのものではいうのもののではいういうのものではらいうのものではいういういうのではいうのものではいうのものではいういうのものではいういうのものではいういうのものではいういうのものではいういうのものではいういう

松二人はっとのて二十の核て八市のなからな 也的秋山佐及り京大大書をきてる 版回版田泉本本村称了不 古八日子的在了 少名桃井を回称かけらいでよるは、そ数のあへ 中的文文是在榜一年了在西心言安山中之川 丁だていなてきなどを川を村るのすけな 若川家中名為川松かるちの日本方と此 古又是天楼下、桃子教下大木十上年 かちちは不例とはおちままななかとけん 村田孫からか切かするかけ、後代孫を 一中西京の方在路谷村沒边連水川治出日 好 女面松田多田に次後安孙中子三去差 产行波川昌村守は人が大の中もすか は四年壮大屋振移にかなってるみ一切 する古機大阪大塚山本を田大松かける時川茶 林 多及田 体江田村 极条利报川村上京本 石川はそ初本心海体書を設を角できれ 中的汽士下行公子多三段吃樓丁次水本 极丁と着丁一下の一下の下を丁一下の代記され 七十年度はちちぬる裏表下四十八年 格子の家色上皮を力的年六十七十七七七七 明下的另一上北西京车中犯所藏去 天神十多的中年太中与 三年元正明年日 名情のとあくらる 山からんちできましいまでかりのうを品 比の残る下は下めてかつかれのうころななっ かるのはれてんなるこううたごはのかしろった イル大つてもまつて上述のを丁月一十か日 并上先多称东的角里方子大丁本

七者丁向例八有田柿至小哥板日本在京花

经及三万在田服在 中田格村里田城城市原

中京松山る後春出る井三南三田村場川田日

多る年あららは春子ら志村林坊はえ

大右方科的水作及田中和汉集田竹内不接

七者下向例い有田神至小号板口上在东京北 中京九山る民居山西十二南二田村場川田口 经及三万名四服在 用田店村里田本家年回 及系标符号 林から彼る林山の水十十年南西的久保田彦井 考る年格的心心存存を科林坊は元 大右方科外成住及田中和汉属田竹的旅樓 产了文珍指个名人建的市近代於内藏专及了 心府成在西倒八 石川之及八旅 思由 た一日子一八人人一神田八神が多ろ、節 をあるおかけらいるいかな大学あればなな 又七曲八三医宝板多化标设的标中件会是回春 相等もかりろれは久ろ丁及堂をあるつか た町家事為我了を見りと大きあるおれる丁 クライン元房ではて一丁ガーナムけいから 旅話ではまったでは三路かかりつうという 古与表となるでいればいくでは四四十金に丁 又三ませんないはかかとてよりつつのりみ 川西とうででが、移奏らつれる 小中中に成行をなる 地田春日本為行於於 お問記するなるいなから対称の中心大体行物 九時至為內下了多一國友重也柳子在了八 る様とうでからいけるか いかないっていたくろれいいいるとかくのかり

いろくろし秋文をあるちろれて、井下ゆい

なるとてもありありるであたででなか

丁大房了一年白涯中中海地方大大

なかくるだけいんつく人れてきまるいでする

ろかるるは少と気がは村なでは丁四八

する文下大学三でみな かけっえーさい一色 二んかって表がの山かれかって姓よう 角が、める総はは後のおからそるに差せる 式が大小なと残らをもつうんが、するか の了表神保了、宮大は四中元十一村子 ものちんが中の降口公本の格は及を之思れ せんのするですりうまくと日かかまれからてある 中松近古人之一格至了,此多不多教徒之 のけらましているははいるできなううち 伏石松文母が移物方の依男からろ 生いいてはあたいつで水をきるくのうち移をひ 一日後をしるいいて、方田多ち なら 多格的足術近母的尚内你的私人人人人 さるかけいきををはる 内太政にてる地 生いるいろ内ハ むしえかかってくろうるお 好像都安けって一色移しいなる力を 神像がなないなる我なとなるままなか て来はそんはる文人のい田中唯一ないちんれる そのでなるなるななないはとう 产男次代 村の一名からいう文を合とをあったろうる 土 清明格子下专孩丁也少一小柳丁也平平 との祖中でなる大京はともかかけまる年 けられる多 多いるあっとうれがためいなとろう 三なる系い 之本かける教室三所本目が中か十年 坂田は中字を大い小するの例ですれる 松平老香本都不好的家民人 お手後はなかかけるは 2 11.

安文学教皇帝林中国林安中军

にといるのかはちてなり大木だきする 古丁きかくれていかしいでき 色板甲ではあいとれんなんろんど かしてたとうないいろみ至川下年下山えて あていないとうとんなけれても多かのある な彼りてよろけばからまれたはけらいる するな情かいなかってうませれたけるないな おが本ているちていろれると、東ちは手を 多かのるるとむいとの万多個をはそれ 川のするですしたしい 生小石川的外水府中死石町長を向うい 又もながれからの格のサー日からがたちを 代石かられれる七月里ときてサーいも るべるないでないでえてんまごう町 ではれいなみを内发的為る多子可以上 ろれからまる板をしとはかられあり こかでありではできるしいなかいっか みありて大き様丁とさめる格辺をから からかられる大学与年天神下支 は、あき子なら近いはしかいろうてわいてん でるれるあり ムつれかし夜尾の混目王也いてれもか かびにいるいさいるを核下面でいくつれるか りい たぬかからかを教むろくを格かり むかに得るとかでくれるいきを

室と多門のでれでいかを目自権名丁ぞう

れかるく東のきりろれるしい日向水及丁

後枝ちおい中にとうまかけをであるうう

力安西地東でなれる一次で地 松平

山まいれてから、春夜のつりやりんとう うきはあるかと 夏、秦列林的祖子多 王回你 角生会的地名 存不切至一場一方は成の也法不少で まる格外的これを了久俸から 多一次の板上水田山山山のあれる まらなかかけっておろけい 松手時不称 る内かっち 有意度なな あれる 我方称一次你小等不称人的是多人各後 まななかける 表のつのろりのの一次まけいな かかくかくえ きがかずるすん 不古了好年在了你 每去级人人人小孩 ちゃうでんでいるけんのはやしい、おそう を 年达ちて込むくろれ改代丁、大品とるか りまることをうてきれたあなられ てきるれの後ののちな大えんろうきをか 日之人为八 松本肥多多你中午 多分准表 でなるなる例からり 司とちろうあ 「れかさくのいましてい大名のとうていかん 七一个五人格川的是七届五人多 まかけらい大は中における校多ををう内へ けっての也林田内を信きたはつり大するつです 1 知田倉的四門及後事家中的 松平肥後 市からのはいかられあしろきでき れからな一様かけことではないろちかと 光川出刊すれずけ大なされ、 面子我 伊克院全体 各并随过方标中内对 松至下径方都 内发记了春中 を変但るちな 松平相模され

一大場ときます。あきるのとうのできている。 まるまである。 大場ときまである。 なるである。 なるである。 なるである。 なるである。 なっているが、 できる。 マネをできる、おんでする。 なっているが、 できる。 マネをできる、おんでする。 なっているが、 できる。 マネをしたが、 できる。 マネをしたが、 できる。 マネをしたが、 できる。 マネをしたが、 できる。 マネをしたが、 できる。 マネをしたが、 できる。 マネー はっている。 マネーはっている。 マネーはっている。 マネーはっている。 マネー はっている。 マネーはっている。 マネーはいる。 はんないる。 はんないる。 はんないる。 はんないる。 はんないる。 はんないる。 はんないる。 はんないる。 はんないるいんないる。 はんないる。 はんないるいんないる。 はんないるいん

多一列文的松丁四一日

生いあいかりひいとのきか、後をからる

すらけになかであったいことをいるり社

的多名 美之治八人為丁七樓一名珍丁川日

下後と 至小年之人は写為一九四年

事之城京上海下 けった火川たく丁きでから 场图中了你中的多多一个的文 るかがるう大格さいる大中でむ水池 るなからうて四ちろうとろしとう お手級あるなのろそが紙丁重梅為 大きろきがろうですところの中小松子 丁で多くつかきいお 尾丁ロかりのけら又中の の外下いれてあるとい大名林の落ちれい 少りちんない 明的家都事吃何時不知中人大人大 120ち院接亡年一荒井丁もくくつれる まではと多一又的行為するを小中の大小 下の近い中のた大いっちかはたんちの るおる物上ででくついれを一又はきる かける又一トにい天はグラうるを丁二方の中 京年の下芝の後面近年天下的四十年ん めいくつれのみにてめるてありかけてう同れて 今又东京を室川至了、方名町家~~ 格計い町中切中少方を田下方を下南刻 三十九万多多人的とははりあては下る 佐きつててかってかからこっかいは多しるりて 表式法多人可经一一一的一一的方子 がおえりは、村下かっためはは多しと 楼丁後の断上牧北中了 本下る本 少のえてうのうなななからの秘をま 中方中的形式多少人最高极人人日 這你以我死去丁月公川丁四日 やける又きのもちといるあるれつかんち おえちのろ大久保施ガーのう島社の

うなををありくまるしきのも いな」の方市中としてもしく安かといいろれ あらる数十退山里のいてあるようは 有之面城之場不見四子為微松去段的人 休を一代れかけるるり又思た下一下で方 三口不不力了又下只的食名少年所代地 の勝すてこころはりまそとけるよろは大 出不好事的時代大人からを たろりたろう あ様丁中方松丁全季下佐小中了と めりるというころきかける人ちつかとなり かけるえかん本川也大いかねし又はひ大二丁で 多一あてあていたいかつれない~~ サンなが ままえるを一一一のか二丁 おの食つうと裏をりかりの方のうりれ 佐を丁也大いふろつきお川下かまれて多井 よりは近大るれをかあでした一条つずれ 丁浩丁中语一大路个也少少多看千至了小 斗りおころのろ 高ををう大斗大がた板 小さるなかける又下に、様子梅近ると大ー 下八時格の限力の中で三人はった丁少し とりくつれる一堂格保井梅にかりる~ め二下めかける死至北下る久下三角中にけ 凌信下外与近代多一个下只好嫁海下一下 こて三村のら又田安林小一多って一家一人 秋をとれい丁はいえてつれるく一下の中 目を回ばのす つずかける又下八中東下方事教十一 分の一方八名川丁分小六万城南六名城 なししあくかけるろうえ

一日一分でし 一方文五年? 一口出生 外全多了一切并在 库交配人 人名太子 一月一多了 一つかっ 日一かり 一一一一かツ 〇十年内を一名方内 日一分一去送一十八 たりい 月一多小計而文? ~一年で 日本十二年 像人 一日一朱? 東教学官旅行教各 上極小的极小在 香格 的外久保下京 你川尚边的西 日析山下京多文 心は人や花なっ 川村传教 きなったる 日さか丁 地方でもら コニス 山及森多本 日本場 方川さか丁 等 本 起 みかりや

一门一十五年了 一口門門

南深 後養

一个文文来で 一日一多っし、 友人外的我就考多院方町家安安心 一日本サヤ 一切的で ち教せするく 通してきあべくいとしれ取るであう いるといれた板。 一番のは放いること 白年子れて 百公太 一向其本外で 被三两文? 春日本谷汁水子 全一年一四年一年了 石不る什つ 阿一并全年了 内一年一石文で 同以まり 日一多一会送一十八 いそうひは七枝升三枚五七を 一年了一公丁 かるも まえるる 第一方 い な 神经五十其 古3 至在全京 五年 13件 金 和人多数 京各下 後多街 長一主公 谷口生文部 川村信息 きなんる さぬなや久をない 本等の多 近にやまたつ 民 0

南人名を即同去

安養養養養女皇九月港

古梅小羽耳